

豊かさ 確かさ 逞しさ

朝日さす



仙台市立南光台中学校
学校だより 第1号
令和5年4月13日
<http://www.sendai-c.ed.jp/~nanchuu/>

希望あふれる新年度がスタートしました！

南光台中HPはこちらから。
ブログもご覧ください。

桜の花が満開になる中、希望に満ちあふれた102名の新入生を迎え、生徒総計305名、教職員40名で南光台中学校の令和5年度がスタートしました。「豊かさ」「確かさ」「逞しさ」の教育目標のもと、生徒一人一人が輝き、笑顔と希望あふれる学校を目指して、教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。今年度も保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



始業式 式辞 校長 今野 浩平

進級おめでとうございます。令和5年度新学期、皆さんが元気に登校したことを喜びたいと思います。

さて、新3年生は最上級生になりました。今年度は義務教育の最終学年になります。一つ年上の先輩がそうであるように、皆さんは、一年後の今日、どこかわかりませんが、新しい場所で新年度を迎えています。一年後に、満足できる新しい場所に立てるように、この一年頑張っていきましょう。3年生の先生方だけでなく、南光台中学校の先生方はみなさんを応援してくれると思います。また、新2年生も上級生になります。入学してくる新1年生から頼られる素敵な先輩になってもらいたいと思っています。2年生後半は3年生に代わって部活動を運営したり、生徒会を運営したり、様々な場面で学校の代表となります。皆さんが活躍する姿をたくさん見たいと思っています。

さて、中学校は何のために存在するのでしょうか？私は、生徒の皆さんの「未来貢献」にあると思っています。「未来貢献」とは、「生徒が夢や希望を持ち、その夢や希望を実現するための方法を考え、自分を律しながら自立していくこと。」と考えています。生徒の皆さん、まず夢や希望を持ちましょう。そしてそれを実現するための方法を考えましょう。自分を律しながら自立していきましょう。

ところで、新型コロナウイルスでここ3年間マスクの生活でした。しかし、4月から学校でも、マスクは着用しても、しなくてもよいこととなりました。ただし、マスク着用が推奨されるケースもあります。皆さんにお願いしたいのは、『自分の判断』で決めること、一人一人の考えを尊重しましょう。

最後に、WBCについてお話しします。毎日テレビを見るのが楽しみでした。そして、日本は優勝しました。最後の打者を三振にうちとり、大活躍した大谷選手はMVPを獲得しました。また、キャンプイン初日からチームの和を大切にしたダルビッシュ選手もいました。昨シーズン三冠王となった村上選手は準決勝まで凡打ばかりでしたが、準決勝でサヨナラタイムリーを打ちました。記憶がよみがえってきましたか？校長先生が感じたことは、あの大スターが他の選手のプレーを見て真剣に勉強していること。そして、野球が好きということです。プロ野球選手は、中学・高校・大学等で超一流の選手として活躍し、やっとプロ入りします。日本代表はそのプロの中でも大活躍している人ばかりです。スーパースターの中のスーパースターと言ってもいいのではないかと思います。昨年のPTA広報誌に好きな言葉を書きました。校長先生が好きな言葉は、「好きこそものの上手なれ」です。どうぞ皆さんも学習が好きになってください。体育が好き、音楽が好き、数学が好き、英語が好きになってください。好きになればきっと上手になれる。成績が向上するはずです。部活動も同じです。野球が好き、テニスが好き、バスケが好き、陸上が好き、剣道が好き、吹奏楽が好きになってください。そして、あのWBCの日本代表のように向上心を持ちましょう。皆さんが躍動する1年間であることを期待して、式辞とします。

中学校時代に経験してほしいこと

パソコンには、「ハードディスク」があり、様々な情報を記憶する。それに対して人間は、「ハートディスク」というものがあり、感動したこと、感激したこと、うれしかったことなど、私たちの心に残ることが記憶される。パソコンのハードディスクには容量があるが、私たちが持っている「ハートディスク」は容量が決まっていない。入れれば入れるほど大きくもなり、人間としても大きくなるのだ。



始業式での代表生徒のすばらしい発表内容を紹介します。

2年生になって、今年頑張っていきたいことは3つあります。

1つ目は、あいさつです。去年の最初の頃と比べると、今の私たちは、朝に友達と会ったときや廊下で先生とすれ違ったときなどに、自分から積極的にあいさつができるようになりました。あいさつをすることで、学年全体の雰囲気がとても良くなりました。もうすぐ新入生が入学して私たちには後輩ができます。先輩として、後輩に元気よくあいさつをすれば、あいさつの輪が広がり、活気あふれる学級・学年・学校になるはずです。あいさつは、なぜこんなにも大きな力を持っているのでしょうか。それは、人とのより良い関係を築く第一歩になるからだと思います。あいさつは、相手の心の扉を開く鍵となり、たった一言のあいさつをきっかけに、相手とのコミュニケーションをとりやすくなります。一瞬で相手を敬う気持ちや、自分の気持ちを伝えられる最高の手段です。多くの人が、新しいクラスになって、不安もたくさんあると思いますが、そんな時こそ、勇気をもって自分からあいさつをしたいです。私も、去年の自分よりレベルをアップさせ、同じ学年の友達同士だけでなく、新入生をはじめ、会う人、すべての人に、積極的にあいさつをしていきたいです。新学期の今こそ、あいさつを通してより良い人間関係を築ききっかけを作り、多くの人に、優しさ、元気を伝えていきましょう。

2つ目は、やるべきことをやり、信頼される人間に成長するということです。昨年度は、ワークや学習カードなど、提出すべき課題や、生活記録ノートである忘れないぞうや自主学习ノートの提出がおろそかになってしまった人がいました。将来のことを考えても、やるべきことをやらなければ、自分が損をしたり、信頼を失ったりすることになります。社会に出てからも、信頼は必要不可欠になります。やるべきことをやるなど、日々の努力をしっかりとして自分を向上させるとともに、周りから信頼される人になっていきたいです。

3つ目は、よりよい人間関係を作ることです。そして、みんなが安心できる集団を作っていきたいです。昨年1年間で、人との付き合い方が上手になった人がたくさんいると思います。しかし、周りの人の気持ちを考えない言動もありました。もちろん人間ですから、合う人、合わない人はいると思います。しかし大切なのは、様々な人がいて、多様な考え方や価値観があるということを理解し、受け止めることだと思います。そうすれば一人一人が安心して自分を発揮することができ、結果、良い雰囲気になります。ぜひ、新しいクラスでも様々な友達を理解し、お互いの良さを発揮し、誰とでも協力する姿勢を大切にしていきたいです。そうすれば、2学年が、一緒に笑い合い、時に悲しみを分かち合えるような仲間になっていくと思います。

私たち2年生は、後輩を迎え学校の中核となります。今お話しした3つのことをやり遂げたいです。2学年の仲間はもちろん、先輩、後輩たち、全校生徒と協力し、笑顔があふれる南中を作っていけるよう、頑張りたいです。

2学年代表 H・K

新しい先生方と後輩を迎え、新たなスタートを切ったラスト一年の中学校生活。多くのことに挑戦したいと思う一方、自分の将来に関わる大きな選択をすることに対して、避けることのできない大きな不安も同時に感じています。まず、最上級生として私は、クラスのため、学年のため、学校のために積極的に行動を起こしたいと思います。私は今まで、行動をおこそうとしたものの、いざとなると動けなくなってしまうことが多くありました。例えば、修学旅行実行委員で話し合いの時、自分から率先して声をあげなければならない場面で、深く考えてしまい、結局動けなかったことがありました。時間が過ぎてから「あのときこうすれば良かった。」と後悔が残りました。「やらない後悔より、やって後悔する。」この言葉は私が大切にしている言葉です。何か行動を起こすときにためらってしまい、何もできないまま後悔するよりも、行動を起こしてから後悔した方が自分のためになると思います。後悔と聞くとマイナスのイメージですが、後悔も一つの経験として今後の自分に生かしていけるようにと考えることができれば行動を起こすきっかけにつながると思うのです。これからは小さいことでも率先して行動を起こし、周りに良い影響を与えられるようになりたいと思います。

一方、私たちには、進路の選択という大きな壁が待ち受けています。この南光台中から卒業した後、どんな道に行くのか一人一人が考えなければなりません。この一年戸惑いや悩みにつきあたるとおもいますが、充実した三年間だったと思えるように毎日を大切に過ごしていきたいと思います。そして、最上級生として後輩が誇りに思ってもらえるような三年生になりたいと思います。

3学年代表 S・W



1
学年

UNITE

～団結・結束～

2
学年



3
学年

